

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2011年19週 (5月2週5/9~5/15)

2011年4月報

愛知県感染症情報センター(愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先: 052-910-5619(企画情報部)

今週の内容

トピックス

腸管出血性大腸菌感染症、伝染性紅斑、麻疹
病原体検出情報
定点医療機関コメント
溶血性レンサ球菌感染症、感染性胃腸炎、
マイコプラズマ、インフルエンザ 等

全数把握感染症発生状況 ()内は件数。

結核(25)、腸管出血性大腸菌感染症(1)、マラリア(1)、レジオネラ症(1)、アメーバ赤痢(1)、急性脳炎(2)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症(1)

2011年4月報

定点把握感染症報告数(保健所別、年齢別)

「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

腸管出血性大腸菌感染症(表)

愛知県の2011年報告数は5月18日現在15件(O157 13件、O26 2件)で、O111検出例は報告がありません。

2009年、2010年全報告のうち、O111検出例はそれぞれ2件、3件でした。

【参考ページ】病原大腸菌

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/eaggec.html>

表 腸管出血性大腸菌感染症

O血清型別報告数及びHUS*発症数(愛知県・5月18日現在)

O血清型	2009年	2010年	2011年
157	177	190	13
26	12	33	2
111	2	3	
その他、不明	15	11	
患者報告数総計	206	237	15
うちHUS発症者数	4	10	0

*溶血性尿毒症症候群

伝染性紅斑(図1)

19週の定点当たり報告数は0.72、18週72人 19週131人です。

【参考ページ】

麻疹と診断された伝染性紅斑の家族例(病原微生物検出情報/国立感染症研究所感染症情報センター)

<http://idsc.nih.gov.jp/iasr/31/367/pr3674.html>

麻疹(図2)

2011年は、5月19日現在11件報告されています。年齢階層別内訳は、0~4歳2件、5~9歳3件、10~14歳1件、15~19歳1件、20歳以上4件です。2010年の報告数32件の年齢階層別内訳は図のとおりです。

2011年愛知県においても、一部の麻疹疑い患者検体からヒトパルボウイルスB19(伝染性紅斑の病因ウイルス)が検出されました(2ページ病原体検出情報参照)。麻疹の診断時には発生届と併せて、患者検体の提出をお願いいたします。

【参考ページ】

最近の知見に基づく麻疹の検査診断の考え方(国立感染症研究所感染症情報センター)

<http://idsc.nih.gov.jp/disease/measles/pdf01/arugorizumu.pdf>

(緊急)麻疹は子どもだけの病気ではありません。成人も要注意!(国立感染症研究所感染症情報センター)

<http://idsc.nih.gov.jp/earthquake2011/IDSC/20110513measles.html>

麻疹の検査診断について(厚生労働省)

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou21/tsuuchi_101111_01.html

麻疹患者調査事業における麻疹患者発生報告状況

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl_6.html

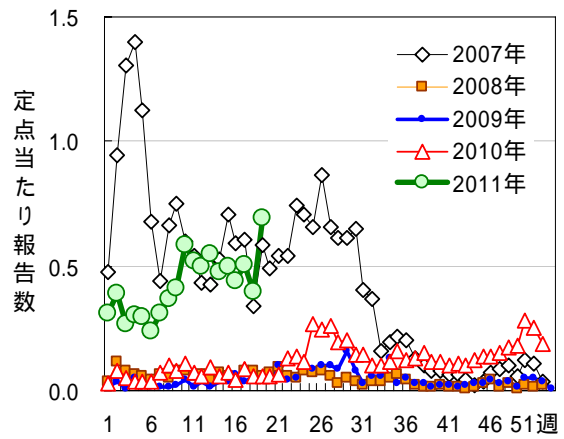


図1 伝染性紅斑

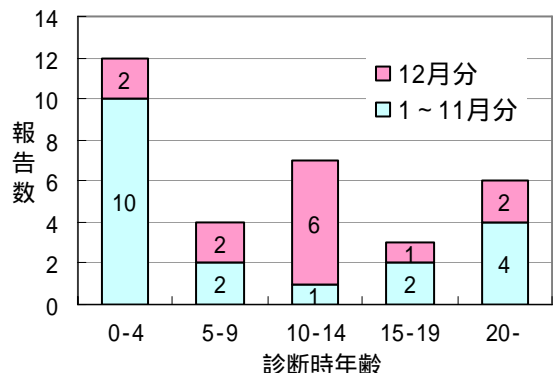


図2 2010年麻疹患者報告数(愛知県・年齢階層別)

	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルペス キナ	咽頭 腫熱	流行性 角膜炎	無菌性 髄膜炎	脳炎 髄症	*インフル エンザ	**麻 疹
患者数	106	3	1	2	9	10	6	347	3(20)
CV-A16		2							
CV-B2	1								
E-11	3					2	1	1	
FluAH1pdm								139	
FluAH3								88	
FluB								72	
MeV									1(2)
MuV						1			
Rota A G1	16								
Rota A G2	1								
Rota A G3	13								
NV-G	15								
AstV	7								
Ad-2	1			1					
Ad-3	3			1	2				
Ad-5	1								
B19V									(3)
検査中	37	1				4	2	6	(1)
陰性	14		1		7	3	3	41	2(14)

*インフルエンザは 2010/2011 シーズンの検査結果。

**麻疹の () 内は病原体定点医療機関以外からの患者数(別掲)。

略：ウイルス名(他の略名) Ad：アデノウイルス、AstV：アストロウイルス、B19V：ヒトパルボウイルス B19、CV：コクサッキーウイルス(Cox.) E：エコーウイルス、FluAH1pdm：新型インフルエンザウイルス、FluAH3：A 香港型インフルエンザウイルス、FluB：B 型インフルエンザウイルス、MeV：麻疹ウイルス、MuV：ムンプスウイルス、NV：ノロウイルス、Rota A：A 群ロタウイルス

関連ページ 1) 「疾患別ウイルス検出情報」<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>

2) 「2010/11 シーズンインフルエンザウイルス分離・検出状況」

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/infbunri10_11.html

定点医療機関コメント(名古屋市除く)

尾張西部地区

感染性胃腸炎でロタ陽性者あり。

1歳男 インフルエンザ A 型

【一宮市 後藤小児科医院】

マイコプラズマ感染症 2人

【一宮市 ささい小児科】

インフルエンザ 2名(B 型2名)

【一宮市 一宮市立市民病院】

マイコプラズマが増えてきました。熱がある時にはすでにX-P上陰影があり、その後咳が出てくる様です。

溶連菌9名、アデノウイルスも増えてきました。

【犬山市 武内医院】

病原大腸菌 O26 11か月女

O114 9歳女

O1 13歳女 15歳男(兄妹)

O74 11歳男

O1 6歳男

O18 11歳男 3歳男

全員軽快しました。

【江南市 河野小児科】

溶連菌感染症やや目立ちます。

インフルエンザみられなくなりました。

【江南市 みやぐちこどもクリニック】

メタニューモ減少化傾向

溶連菌感染症 増えてきました。

【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】

43歳男 インフルエンザ A 型

【清須市 丹羽医院】

16歳男 カンピロバクター腸炎

41歳女、クラミジア肺炎

インフルエンザ A 型、1名

インフルエンザ B 型、1名

【北名古屋市 田中クリニック】

インフルエンザ A 型1名、B 型2名。

【弥富市 医療法人すずきこどもクリニック】

尾張東部地区

溶連菌感染症流行みられています。

その他水痘散発。

【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】

溶連菌感染症が目立ちます。

ムンプスも流行しています。

【豊明市 こども元気クリニック】

インフルエンザは診なくなりました。

ウイルス性胃腸炎は続いています。

【春日井市 春日井市民病院】

B型インフルエンザ1例

RSV感染症、アデノV感染症、溶連菌感染症、水痘少々

【春日井市 朝宮こどもクリニック】

インフルエンザは0人です。

感染性胃腸炎はロタが中心です。

【小牧市 小牧市民病院】

伝染性紅斑が目立ちます。

感染性胃腸炎では、カンピロバクターが数例見られました。

【小牧市 志水こどもクリニック】

感染性胃腸炎が増えています。

【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】

13歳女 カンピロバクター(+)

インフルエンザB型 1名

【半田市 医療法人林医院】

8か月男 ロタウイルス(+)

ロタウイルス以外の胃腸炎が増えているようです。

【大府市 まえはらこどもクリニック】

インフルエンザA型1名B2名(5~6歳)

病原大腸菌O1 1名(1歳)

O74 1名(1歳)

O25 1名(10歳)

サルモネラO4 1名(1歳)

溶連菌感染症やや多いです。

【東海市 もしもしこどもクリニック】

西三河地区

Strep A (+) 4歳男

イムノエースアデノ(+)4歳女、51歳女

【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】

マイコプラズマ 5名

インフルエンザB型 1名

【豊田市 すくすくこどもクリニック】

アデノ 8歳女

病原性大腸菌O18(+)6歳女

病原性大腸菌O1(+)6歳男

サルモネラ O9群 2歳男

便アデノ(+)9か月女(ロタも同時)

【岡崎市 花田こどもクリニック】

溶連菌感染症、伝染性紅斑散見されます。

その他特記すべきことありません。

【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】

アデノ 2歳男

病原性大腸菌O18(+)VT(-)2歳男、6歳男

病原性大腸菌O1(+)VT(-)2か月男、4歳男

カンピロバクター 6歳男

【岡崎市 にいのみ小児科】

カンピロバクター 6歳男

病原性大腸菌O18 14歳男

【岡崎市 川島小児科水野医院】

水痘目立ちます。

伝染性紅斑散発

【碧南市 永井小児クリニック】

マイコプラズマ気管支炎2名(13歳、5歳)

【刈谷市 田和小児科医院】

伝染性紅斑3名

【知立市 宮谷クリニック】

アデノウイルス感染症 11か月女

病原性大腸菌 2歳女

【幸田町 とみた小児科】

13歳男 カンピロバクター腸炎

【西尾市 山岸クリニック】

病原性大腸菌O1

【西尾市 やすい小児科】

東三河地区

溶連菌感染が散発しています。

【豊橋市 あずまだこどもクリニック】

A群溶連菌感染症が増えてきました。

2歳女 5歳女 カンピロバクター腸炎

【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】

インフルエンザA型 1名 B型 10名 合計11名

【豊橋市 医療法人羽柴クリニック】

咽頭結膜熱 30代男

【豊橋市 富安眼科】

カンピロバクター 11歳(女)

【豊川市 ささき小児科】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2011年5月18日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki_jun110401.pdf

結核（二類感染症）

報告保健所	2011年19週報告数			2011年累計(1～19週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲
名古屋市(16保健所合計)	11	2	1	247	62	46
豊田市				28	7	6
豊橋市				29	4	12
岡崎市	1	1		31	7	15
一宮	4	1	2	50	18	9
瀬戸	3		1	62	14	15
半田	1			22	4	11
春日井	1			45	12	14
豊川	1			15	2	8
津島				23	3	8
西尾	1		1	22	6	9
江南	1	1		27	7	8
新城				3	1	
知多	1		1	46	8	24
師勝				17	6	3
衣浦東部				36	9	12
合計	25	5	6	703	170	200

腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	名古屋市	26歳	男	5/3	5/6	5/10	O157、VT1(+)/VT2(+)

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）

マラリア（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	名古屋市	30歳	女	熱帯熱	ケニア

レジオネラ症（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	名古屋市	67歳	女	ポンティアック型	国内

アメーバ赤痢（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	豊田市	43歳	男	腸管アメーバ症	不明	国内

急性脳炎（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	名古屋市	2歳	男	病原体不明	国内
2	知多	84歳	女	病原体(インフルエンザA型)	国内

劇症型溶血性レンサ球菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染地域
1	名古屋市	60歳	男	国内

4月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況 [()は無症状病原体保有者再掲。]

2010～2011年に報告のあった 疾病名及び病型 ()内は全数把握対象疾病数		2011年4月			2011年 総計 <愛知県全体>	2010年 総計 <愛知県全体>	
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体			
一類 (7)	発生報告なし	0	0	0	0	0	
二類 (5)	結核	87 (28)	40 (10)	127 (38)	631 (182)	2,037 (351)	
三類 (5)	細菌性赤痢	0 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (0)	11 (0)	
	腸管出血性大腸菌感染症	1 (0)	2 (0)	3 (0)	14 (6)	237 (56)	
	パラチフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	
四類 (42)	E型肝炎	0	1	1	2	3	
	A型肝炎	0	0	0	0	13	
	オウム病	0	0	0	0	4	
	つつが虫病	0	0	0	0	2	
	デング熱	1	0	1	3	21	
	ブルセラ症	0	0	0	0	1	
	マラリア	0	0	0	1	1	
	レジオネラ症	4	0	4	6	43	
五類 (14)	アメーバ赤痢	0	2	2	9	53	
	ウイルス性肝炎	0	0	0	3	17	
	内訳	B型	0	0	0	3	16
		C型	0	0	0	0	1
	急性脳炎	0	0	0	5	8	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	8	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	2	11	
	後天性免疫不全症候群	2	1	3	22	138	
	内訳	無症候性キャリア	1	0	1	10	73
		AIDS	1	1	2	12	56
		その他	0	0	0	0	9
	ジアルジア症	0	0	0	2	1	
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	1	
	梅毒	1	1	2	16	53	
	内訳	無症候	1	1	2	6	23
		早期顕症	0	0	0	9	27
		晩期顕症	0	0	0	1	3
	破傷風	0	0	0	0	3	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	2	
	風しん	0	0	0	3	3	
麻疹	2	1	3	10	32		
総 計		98	48	146	734	2,704	

*026;1件、0157;2件

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

	疾病名	2011年4月			2011年 総計	2010年 総計
		愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県 全体	愛知県 全体
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	66	56	122	515	1,680
	性器ヘルペスウイルス感染症	33	22	55	212	609
	尖圭コンジローマ	12	13	25	101	355
	淋菌感染症	24	28	52	222	822
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	94	19	113	436	1,239
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	11	5	16	62	238
	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	0	4
	薬剤耐性アシネトバクター感染症*	0	0	0	0	-

*2011年2月からの報告対象疾病

感染症の類型及び定義(感染症法)

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (5疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。鳥インフルエンザ(H5N1)が平成20年5月12日の法改正により従前の四類感染症鳥インフルエンザから除かれ、二類感染症に追加された。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症 (42疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症 (42疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスによるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

